

社会資本総合整備計画 事後評価書													令和08年03月31日						
計画の名称	九州横軸三県における広域的な観光活性化計画（重点）																		
計画の期間	平成30年度 ～ 令和04年度（5年間）											重点配分対象の該当		○					
交付対象	長崎県																		
計画の目標	九州横軸三県地域（長崎県、熊本県、宮崎県）は、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」（H27世界文化遺産登録）や「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」（世界文化遺産候補）等の貴重な文化遺産、さらに、ユネスコ世界ジオパーク、日本ジオパーク、ユネスコエコパーク、世界農業遺産に登録されている変化に富んだ地形や雄大な自然景観・その地で育まれた伝統文化等を有しており、これら観光資源を最大限活用すべく、各地方機関や観光団体、民間企業により観光活性化に向けたルート設定等を実施している。また、九州新幹線西九州ルート（武雄温泉～長崎 令和4年度完成目標）、九州横断自動車道延岡線（小池高山IC～北中島IC H30完成目標）、南九州西回り自動車道（津奈木IC～水俣IC H30完成目標）の段階的な開通と併せて既存交通網と連携強化を図ることで、九州横軸三県（長崎県、熊本県、宮崎県）の観光客の更なる増加が期待できる。これら活動と一体となって、九州横軸三県地域の交通拠点（新幹線駅、高速道路IC、空港、港湾等）と拠点施設（景勝地、歴史資料館、温泉街等）、拠点施設間のアクセス道路、観光案内及び観光PRなどを広域的に連携して整備することにより観光客数を増大させ、観光活性化を図る。西彼杵半島地域及び島原半島振興地域においても、地元市や観光協会の取り組みと一体となって観光拠点間のアクセス道路整備や港湾整備を行うことにより、都市部から観光客を呼び込み交流人口が拡大することで半島地域の活性化が図られる。																		
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		4,440		A	4,440		B	0		C	0		D	0		効果促進事業費の割合C / （A＋B＋C＋D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H28	R2	R4
1	【長崎県・熊本県・宮崎県 共通目標】観光客数9,700万人(H28)から10,475万人(R4)に増加（775万人（8％）の増加）			
	【長崎県・熊本県・宮崎県 共通目標】観光客数 （観光客の増加割合）＝（評価時点の観光客数－H28の年間観光客数）／（R4の年間観光客数）	9700万人	10318万人	10475万人
2	【長崎県 単独目標】長崎県における観光客数を3,328万人（H28）から3,863万人（R4）に増加（535万人（16％）の増加）			
	【長崎県 単独目標】長崎県における観光客数 （観光客の増加割合）＝（評価時点の観光客数－H28の年間観光客数）／（R4の年間観光客数）	3328万人	3863万人	3863万人
3	【長崎県 重点目標】西彼杵半島地域、島原半島地域における観光客数を736万人（H28）から956万人に増加（220万人（30％）の増加）			
	【長崎県 重点目標】西彼杵半島地域、島原半島地域における観光客数 （観光客の増加割合）＝（評価時点の観光客数－H28の年間観光客数）／（R4の年間観光客数）	736万人	956万人	956万人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
全体事業費に占める効果促進事業費（提案事業）割合は、0.8％となる。その他事項については、備考-1に記載。												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域連携事業	A11-001	道路	一般	長崎県	直接	長崎県	国道	改築	（国）2 0 2 号（横瀬工区）	現道拡幅 L=190m	西海市	■	■				80	1.4	-
	A11-002	道路	一般	長崎県	直接	長崎県	国道	改築	（国）2 5 1 号（小川交差点）	交差点改良 L=300m	南島原市	■	■	■	■	■	60		-
	A11-003	道路	一般	長崎県	直接	長崎県	都道府県道	改築	（一）礪石原松尾町停車場線（大手原工区）	バイパス L=400m	島原市	■	■	■	■	■	95	1.1	-
	A11-004	港湾	一般	長崎県	直接	長崎県	地方港湾	建設	口ノ津港	浮桟橋(1) 1基、浮桟橋(2) 1基、浮桟橋(3) 1基、緑地 A=8,300m2 等	南島原市ノ口ノ津港・口之津地区	■	■	■	■	■	1,972	4.2	-
	A11-005	港湾	一般	長崎県	直接	長崎県	地方港湾	改良	島原港	可動橋(A) 1基、可動橋(B) 1基、浮桟橋 1基、防波堤(航路保全) L=250m	島原市ノ島原港・外港地区	■	■	■	■	■	969		-
	A11-006	港湾	一般	長崎県	直接	長崎県	地方港湾	改良	多比良港	可動橋 1基、物揚場(-4m)	雲仙市ノ多比良港・多比良地区	■	■	■	■	■	85		-

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
広域連携事業	A11-007	港湾	一般	長崎県	直接	長崎県	地方港 湾	建設	肥前大島港	物揚場(-2m)、道路、物揚場(-3m)、船揚場 等	西海市 / 肥前大島港・寺島地区	■	■	■	■	■	616	1.7	-	
	A11-008	提案	一般	長崎県	直接	長崎県	-	支援事業	島原半島への観光客輸送支援	ターミナル（改良）、案内標識	島原市、南島原市			■	■	■	34		-	
	A11-009	道路	一般	長崎県	直接	長崎県	国道	改築	（国）３８９号（多比良バイパス）	バイパス L=500m	雲仙市				■	■	529	1.1	-	
											小計							4,440		
											合計							4,440		

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

長崎県土木部にて評価を実施
長崎県公共事業評価監視委員会 委員長より意見聴取

事後評価の実施時期

令和8年2月

公表の方法

長崎県ホームページにて公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・限られた予算の中、事業箇所により優先順位をつけ予算配分し事業を進めたことで、令和2年（中間評価時）から令和6年には観光客数が増加するなど、観光振興による広域的な地域活性化へ寄与したと考えられる。

【効果事例】

・A11-004：熊本県の鬼池港との航路を有し観光導線の結節点となっている口ノ津港において、浮桟橋整備やターミナルの整備を実施したことで利便性や集客性が向上し、最寄りの拠点施設である原城跡の観光客数が増加するなど、広域的な観光活性化が図られた。（整備前：原城跡来訪者数5.9万人/年→整備後：7.2万人/年（22%増） 出典：長崎県観光振興課資料

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

・未完了の事業については、本計画完了後も引き続き社会資本整備総合交付金等を活用し事業を進め本地域の産業活性化を図る。

【未完了事業】：A11-002、A11-003、A11-009

○ 目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	【長崎県・熊本県・宮崎県 共通目標】観光客数9,700万人(H28)から10,475万人(R4)に増加（775万人(8%)の増加）		
	最 終 目 標 値	10475万人	長崎県・熊本県・宮崎県における観光客数は、当計画で実施する事業が完了したR6年の最終実績値で8,286万人（最終目標値の79%）となり最終目標値は達成できなかったが、R2末の中間評価時の実績値5,448万人より2,838万人（52%）増加した。最終目標値が達成できなかった要因は、新型コロナウイルス感染症の拡大等による影響が考えられ、2023年（令和5年）5月には新型コロナウイルスが5類に移行し、全体として観光客入込客数は回復傾向にあるものの、目標達成には至らなかった。出典：（長崎県）長崎県観光統計、（熊本県）熊本県観光統計表、（宮崎県）宮崎県観光入込客統計調査結果
	最 終 実 績 値	8286万人	
2	【長崎県 単独目標】長崎県における観光客数を3,328万人(H28)から3,863万人(R4)に増加（535万人(16%)の増加）		
	最 終 目 標 値	3863万人	長崎県における観光客数は、当計画で実施する事業が完了したR6年の最終実績値で3,080万人（最終目標値の79%）となり最終目標値は達成できなかったが、R2末の中間評価時の実績値1,901万人より1,179万人（62%）増加した。最終目標値が達成できなかった要因は、新型コロナウイルス感染症の拡大等による影響が考えられ、2023年（令和5年）5月には新型コロナウイルスが5類に移行し、全体として観光客入込客数は回復傾向にあるものの、目標達成には至らなかった。出典：長崎県観光統計
	最 終 実 績 値	3080万人	
3	【長崎県 重点目標】西彼杵半島地域、島原半島地域における観光客数を736万人(H28)から956万人に増加（220万人(30%)の増加）		
	最 終 目 標 値	956万人	西彼杵半島地域、島原半島地域における観光客数は、最終実績当計画で実施する事業が完了したR6年の最終実績値で475万人（最終目標値の50%）となり最終目標値は達成できなかったが、R2末の中間評価時の実績値355万人より120万人（34%）増加した。最終目標値が達成できなかった要因は、新型コロナウイルス感染症の拡大等による影響が考えられ、2023年（令和5年）5月には新型コロナウイルスが5類に移行し、全体として観光客入込客数は回復傾向にあるものの、目標達成には至らなかった。出典：長崎県観光統計
	最 終 実 績 値	475万人	